

清流

発行
日本ヘルス工業
分会執行部

第4回団交速報

団交集約

冬一時金2・15ヶ月

4回目の年末一時金交渉を25日LEN飯田橋で開催しました。村越議長から「今日は25日で支給日にはタイトな日程である。仮格付けの問題を含め経営の皆様を確認したい。本体に対して原資2・1ヶ月の根拠を聞きた

い」と原資の説明を要求しました。組合は会社経営は右肩上がりであり、予定されていた研修も十分に実施されていないため、十分に原資はあると考えています。会社からは中期経営計画と他社（メーカー系）の経営状

況の説明がありました。したが「他社と比較してどうなるか考える」と今回の数字になった」とまったく回答根拠にはなっていない。研修に関しては「計画されたすべての研修が行われたわけではない。研修はやりま



役員に視みを聞かせる稲垣分会長

すが計画は今ほ出せない」と相変わらずの無計画です。また会社から正社員の採用に関する考え方が出されました。その内容は、「地元企業とのJV化が進んでる。また企業としてコンサルなどと組むようになる。今後はすべてWAでやることは無いと思う。WAが幹事としてやって行きたい。そのために全体のマネージメントが必要と考える。このことからマネージメント能力のある

諸要求は協定書を見てください
人材を現場から吸い上げるが他社から見つけ出す必要がある。」と毎回同じような説明をしています。2・15

す。このように計画的に人材を入れることは考えていません。その後本体に関してプラス一百万円の回答がありました。また話になりません。休憩、再開後組合は、「月数の回答をしなければなりません。まだ若干時間は待っています」と会社に再考を求めました。休憩再開後、会社から月数にこだわることとはどうしてできないかとプラス一萬五千円の回答がありました。しかし組合は月数を上げることが次への新たなスタートと考えてい

ケ月の回答があり団交を集約しました。今回の団交を終わって会社経営の無計画性、組合への協定破りなど従来にない団交になりました。

冬一時金団交は集約しましたが12月3日に一時金の調印と仮格付け団交を開催します。

結局最後まで会社は原資の根拠を明確には示しませんでした。組合は月数にこだわりました。月数の積み重ねが組合活動の大きな成果であり来期の団交に繋がります。月数を上げることには大きな意味があるのです。

原資根拠説明できず

次回格付け団交12月3日 13時
場所LEN飯田橋

次回執行委員会のお知らせ
12月22日（火）
11時から
場所アタミックス
執行委員は参加してください。